

大学祭
ボランティアセンター
学生コーディネーター企画
「ふくしまレポート」
2016/11/5



説明している学生コーディネーター

福島スタディツアーにて撮影した写真で作成したスライドを用いて、来場者に説明している様子。会場には福島のお菓子やカルタ、音楽なども用意されており、訪れた小学生や高校生たちは、本センターの学生と共に楽しく過ごしている様子でした。社会人の方などは、学生の発表の中で気になったことなどを積極的に質問してくださり、双方にとって実りのある機会となったのではないかと思います。



～内容報告～

首都大学東京の大学祭「みやこ祭」にて、11月4日～5日の2日間に渡り「ふくしまレポート～福の島の潜在力～」と題して、ポスター発表を行いました。この企画は、本センターに所属する学生コーディネーター4人が夏休みに参加した「ふくしまに来て、感じるスタディツアー」において、見聞きし感じたことを報告し、福島県の今の姿や魅力を伝えることを目的としたものです。発表用のポスターからスライド、展示品まで、学生が作成しました。当日は、小学生や高校生、本学のOBの方、地域の方など19名が訪れ、それぞれの方がじっくりと学生たちの話を真剣に聴いてくださっていたのが印象的でした。

発表では、福島を訪れる前にもっていたイメージと実際の福島の違いや、福島の

美しい風景、復興や地域活性化に向けた取り組み等が紹介されました。

また、用意した「福島おもしろカルタ」で遊んでいく子どもたちもいました。福島県の名菓「ままだおる」や「ゆべし」も用意し、来場者に提供しました。

来場者からは、「学生の生の声を聞くことができてよかった」「福島のことを少し知ることができた」などの感想が聞かれました。また、高校生からは「首都大に入学したい」「大学に入ったら、このような様々な活動がしたい」などの声も聞かれました。

